

2. 事業の概要と成果

(1) プロジェクト目標の達成度（今期事業達成目標）

各地区内でインクルーシブ教育研修システムが構築され、各小学校や幼稚園の教室で、障害ある児童が適切な教育を受ける事ができる。
(キンザン省、チャビン省の各地区内で、インクルーシブ教育の地区研修が実施され、小学校や幼稚園の教室で、教師は障害ある児童に適切な教育を提供している。)

(2) 事業内容

活動1

キーティチャーの育成（各地区の指導者研修）を計画通り実施した。
(別添3)

キンザン省、チャビン省のキーティチャーに対するインクルーシブ教育研修

当会が結成したホーチミン市障害児教育専門家チーム（日本人3名を含む）が、キンザン省33名、チャビン省30名 合計63名のキーティチャーに対して、インクルーシブ教育研修を実施した。

キンザン省 キーティチャー育成研修 1回目 1月10日～1月14日 33人参加

キンザン省 キーティチャー育成研修 2回目 2月14日～2月18日 33人参加

チャビン省 キーティチャー育成研修 1回目 11月15日～11月19日 30人参加

チャビン省 キーティチャー育成研修 2回目 2月21日～2月29日 30人参加

キンザン省 1回目

	月 10/01/2022	火 11/01/2022	水 12/01/2022	木 13/01/2022	金 14/01/2022
午前	障害ある児童の法律	発達障害児の特徴	視覚障害児の特徴	個別教育方法	個別教育計画書
午後	障害ある人がベトナムの社会生活をする上で障害になること	発達障害児への教育方法	視覚障害児への教育方法	個別教育方法の演習	個別教育計画書の作成演習
講師	Mr. Văn Cử	Ms. Xuân Mỹ	Ms. Thanh Vân	Ms. Thanh Tâm	Ms. Thanh Tâm

キンザン省 2回目

	月 14/02/2022	火 15/02/2022	水 16/02/2022	木 17/02/2022	金 18/02/2022
午前	個別教育計画書の作成演習	個別教育計画書の作成演習	聴覚障害児の特徴	ワークショップ ワールドカフェ インクルーシブ教育についてどう思いますか？	東京パラリンピック ビデオ鑑賞 「みんなの学校」 ビデオ鑑賞
午後	個別教育計画書の作成演習	個別教育計画書の作成演習	手話演習	ワークショップ ワールドカフェ 現在のインクルーシブ教育の問題は何ですか？	ワークショップ ワールドカフェ インクルーシブ教育を成功させるために何をしますか？
講師	Ms. Nhi - Ms. Hau	Ms. Nhi - Ms. Hau	Ms. Hoa	Ms. Baba	Ms. Baba

チャビン省 1 回目

	月 15/11/2022	火 16/11/2022	水 17/11/2022	木 18/11/2022	金 19/11/2022
午前	障害ある児童の法律	発達障害児の特徴	視覚障害児の特徴	個別教育方法	個別教育計画書
午後	障害ある人がベトナムの社会生活をする上で障害になること	発達障害児への教育方法	視覚障害児への教育方法	個別教育方法の演習	個別教育計画書の作成演習
講師	Mr. Văn Cử	Ms. Xuân Mỹ	Ms. Thanh Vân	Ms. Thanh Tâm	Ms. Thanh Tâm

チャビン省 2 回目

	月 21/02/2022	火 22/02/2022	水 23/02/2022	木 24/02/2022	金 25/02/2022
午前	聴覚障害児の特徴	ワークショップ ワールドカフェ インクルーシブ教育についてどう思いますか？	東京パラリンピック ビデオ鑑賞 「みんなの学校」 ビデオ鑑賞	個別教育計画書の作成演習	個別教育計画書の作成演習
午後	手話演習	ワークショップ ワールドカフェ 現在のインクルーシブ教育の問題は何ですか？	ワークショップ ワールドカフェ インクルーシブ教育を成功させるために何をしますか？	個別教育計画書の作成演習	個別教育計画書の作成演習
講師	Ms. Hoa	Ms. Baba	Ms. Baba	Ms. Nhi - Ms. Hau	Ms. Nhi - Ms. Hau

《キーティチャーの研修の感想》

- 私は、教育室からキーティチャーに選抜されて、大変困惑した。幼稚園の園長として日々とても忙しいからである。しかし、研修に参加して、研修の講師、参加者キーティチャー33 人が、皆素晴らしく、また、研修で今まで知らなかったまったく新しい知識を得て、大変興奮した。インクルーシブ教育には愛情と包容力が必要である。
- 私は、キーティチャーに選ばれて大変光栄だ。幼稚園には、障害ある児童がいて、長年教え方がわからず、悩んでいた。研修に参加して、障害ある児童の教育方法や、木村先生の「みんなの学校」を見て、私は、幼稚園の問題が解決できると確信した。
- 研修は、講師が熱心で、現場に必要な内容であった。教え方はわかりやすかった。研修前、私はネットで調べて IEP（個別教育計画書）を作成して、教えていたが、難しすぎて効果はなかった。研修で学んだ IEP は、わかりやすく効果もでている。

活動 2 各小学校の校内指導教師研修を計画通り実施した。(別添 4)

当会が結成したインクルーシブ教育専門家チームが、キンザン省とチャビン省で、各省 120 名（各小学校 1 名～3 名）を対象にしたインクルーシブ教育研修を、各省 1 回 3 日間、2 回実施した。

チャビン省

クラス	日付	人数
A	2021/11/22-24	30
B	2021/11/22-24	30
C	2021/11/22-24	30
D	2021/11/22-24	30
	合計	120

キンザン省

クラス	日付	人数
A	2022/1/17-19	30
B	2022/1/17-19	30
C	2022/1/17-19	30
D	2022/1/17-19	30
	合計	120

3 日間研修の参加者は、研修後、障害の児童に対して、個別ファイルの作成、IEP（個別教育計画書）作成、プログラム調整など作成できるようになった。学校内の同僚に研修内容を伝えた。校内研修で、3 日間研修の内容を皆に伝えた。また、授業中、児童に個別学習もできるようになった。それにより、児童の学習も向上した。児童は、身の回りの事（トイレ、手洗い、着替え）が自分でできるようになった。

活動 3 各地区の地区内研修を実施した。

キンザン省とチャビン省の 63 名のキーティチャーは、2 週間研修後、キンザン省全 15 地区とチャビン省全 9 地区は、2021 年 11 月末から 2022 年 5 月末の期間に、キーティチャーが講師となって、各地区内研修を実施した。期間は 2 日間から 3 日間。研修では、①個別ファイル作成方法、②IEP（個別教育計画書）作成演習、③政府のインクルーシブ教育の方針、④障害別のそれぞれの特徴について、参加者は学習した。

活動 4 各小学校と各幼稚園において、校内研修を実施した。

キンザン省とチャビン省の全小学校と全幼稚園では、地区研修に参加した教師が自身の小学校に戻り、小学校内研修を実施した。これにより、2 省の全教師がインクルーシブ教育の研修を受ける事ができた。

活動 5 各 2 省全地区対象モニタリングを実施した。 (別添 1)

2022 年 4 月 12 日から 4 月 18 日まで、チャビン省 8 地区、4 月 20 日～28 日まで、キンザン省 10 地区 1 市で、モニタリングを実施した。モニタリングでは、各地区のキーティチャーや、人民委員会の担当者、教育室の担当者、校長、およそ 80 人にインタビューを実施した。別室では、訪問した学校の障害ある児童の保護者や、担任教師に、専門家がカウンセリングを実施した。

現在の各地区の問題は、障害ある児童には診断書が必要であるが、地区によっては、診断書を取る事が難しい地区も多かった。理由は、両親が診断書に同意しない。人民委員会が肢体不自由児以外の児童の障害を認めない等である。次年度の研修では、診断書の取り方、両親へのカウンセリング方法、地区内のインクルーシブ教育の進め方なども研修内容に含める。

今回の研修での要望は、高度行動障害の児童、知的障害の児童、学習障害の児童、発達障害の児童、自閉症児へのクラス内での具体的な教え方を学習したい、インクルーシブ教育の現場を見たい、インクルーシブ教育の教室での具体的な教え方を学習したい、というものが非常に多く、今回の研修をこの要望に沿って準備を進める。

活動 6 各 2 省に補聴器を支援した。 (別添 2)

また、インクルーシブ教育のガイドブックを配布し「みんなの学校」木村泰子著の本を、ベトナム語に翻訳、出版した。

1. 2021 年 11 月 19 日、チャビン省のキーティチャー 30 人に、インクルーシブ教育のガイドブックを配布した。
2. 2021 年 11 月 24 日、チャビン省の校内指導教師に 120 人に、インクルーシブ教育のガイドブックを配布した。
3. 2022 年 1 月 14 日、キンザン省のキーティチャー 33 人に、インクルーシブ教育のガイドブックを配布した。
4. 2022 年 1 月 19 日、キンザン省の校内指導教師に 120 人に、インクルーシブ教育のガイドブックを配布した。
5. 2022 年 1 月 15 日、キンザン省の聴覚障害の児童の聴覚検査を実施した。
6. 2022 年 2 月 26 日、チャビン省の聴覚障害の児童の聴覚検査を実施した。
7. 2022 年 2 月 19 日、キンザン省の児童に、聴覚検査で調整した 10 個の補聴器を耳に合わせた。10 個の補聴器をキンザン省教育局に譲渡し、同省教育局から児童に対して 10 個の補聴器が貸与された。※当初実施される予定だったキンザン省への車椅子 4 台の贈与、チャビン省への補聴器 13 個、車椅子 5 台の贈与は、聴覚障害児の聴覚検査に費用がかかった事や、各児童の聴覚に合わせた補聴器の調整のため日数がかかった理由のため、次年度に延期した。

(3)達成された成果	< キンザン省、チャビン省 >		
	成果を測る指標	目標	事業実施 1 年目
	近隣の小学校に通う障害ある児童の就学率が向上する。	障害ある児童の就学率 事業 1 年目 60%	キンザン省 850 人／1367 人 62% チャビン省 380 人／604 人 63% 就学数／学齢期の障害児数
	近隣の小学校へ通う障害ある児童の退学率が減少する。	障害ある児童の退学率 事業 1 年目 30%	キンザン省 200 人／850 人 23% チャビン省 100 人／380 人 26%
	障害ある児童を受け入れた教師のうち、個別ファイルや、IEP(個別教育計画書)を作成している教師の数。	事業 1 年目 50%	2 省で 1350 人の障害ある児童が近隣の小学校に通っている。 事業実施後、およそ、700 人以上の教師が、障害ある児童に個別教育計画書を作成している。(52%)
	学力が向上した障害ある児童の割合。	事業 1 年目 30%	2 省で 1350 人の近隣の小学校に通っている障害ある児童の内、およそ、600 人以上の児童の学力が向上した。(45%)
	車椅子の支援を受けた児童の両親(または祖父母)が、児童の学習や生活が向上したと考える。	1 人で小学校内を移動することができる。 1 人で家の中を移動する事ができる。	車椅子を贈呈された児童は、小学校内を一人で移動する事ができるようになった。 一人で家の中を移動できるようになった。
	補聴器の支援を受けた児童の両親(または祖父母)が、児童の学習や生活が向上したと考える。	教室で、教師の話が聞こえるようになる。 家の中で、家族の話が聞こえるようになる。	補聴器を贈呈された児童は、今まで聞こえなかった、教師や、家族の声が聞こえるようになった。
(4)持続発展性	キンザン省とチャビン省では、キーティチャー育成研修後、研修に参加した各地区 2 名～ 3 名のキーティチャー(合計 63 名のキーティチャー)が、自身の地区で地区研修を実施し、全地区で地区研修は実施された。その後、地区研修に参加した各小学校 2 名(校長、副校長)、幼稚園(園長、副園長) 2 名の代表参加者は、自身の小学校や幼稚園で校内研修を実施し、全小学校と全幼稚園で研修が実施された。これにより省内の小学校、幼稚園の全教師が研修を受けられた。 来年度以降も、キーティチャー育成研修を受けた 63 人のキーティチャーは、各地区内で地区研修を継続的に実施していく。この地区研修に参加した地区内の小学校、幼稚園の校長や副校長は、自身の学校で、校内研修を継続的に実施していく。		